

## 我孫子市消防審議会会議録

- 1 会議の名称 我孫子市消防審議会（令和8年度第1回）
- 2 開催日時 令和8年4月14日（火）17時30分～18時50分
- 3 開催場所 消防本部2階 大会議室
- 4 出席者の氏名
  - （1）我孫子市長  
星野 順一郎
  - （2）審議会委員  
藤根 勉、齋藤 美重子、福島 慎太郎、渡邊 豊、山元 真二郎、鈴木 誠
  - （3）事務局  
国本浩二（消防長）、玉置裕二（次長兼西消防署長）、齋藤誠（警防課長）、勝矢秀樹（総務課長）、伊藤和行（東消防署長）、玉田耕作（東消防署湖北分署長）、渡邊治夫（西消防署つくし野分署長）、野川賢介（総務課長補佐）、本橋佑哉（総務課担当）、牧内賢治（総務課担当）、奥田悠介（総務課担当）
- 5 傍聴者 1名

### ◎会議次第

- 1 開会  
事務局（総務課長補佐）により開会宣言「令和8年度、第1回我孫子市消防審議会を開会いたします。」が行われ、順次次第に沿い進められた。
- 2 傍聴要領  
傍聴要領の配布・説明
- 3 委嘱状交付
- 4 市長挨拶
- 5 審議会委員の紹介
- 6 市職員の紹介
- 7 役員の選任（会長・副会長の選任）
  - （1）司会の進行により、審議会条例第5条による会長、副会長の選任を委員の互選により行う。
  - （2）会長に藤根委員が選任され、決定される。
  - （3）副会長に齋藤委員が選任され、決定される。
- 8 会長挨拶・副会長挨拶
- 9 諮問交付  
藤根会長に市長より諮問が交付された。

終了後に市長公務のため退席

## 10 議事

審議会条例第6条第2項により、会長が議長となり議事が開始される。

### ◎議事開始

#### ○議長（藤根会長）

諮問事項の「我孫子市消防体制の強化について」事務局の説明を求めます。なお、項目ごとに説明を受けたのち各委員の発言を許します。質問のある委員は挙手をお願いします。

#### ○本橋佑哉（総務課担当）

「(1) 諮問事項について」パワーポイントのスクリーン映写に基づき次の事項により項目ごとに説明された。

##### (1) 諮問事項について

- 1、 定年延長制度への対応について
- 2、 職員の休業、休暇取得への対応について
- 3、 消防学校等研修への対応について

#### ○議長（藤根会長）

「(1) 諮問事項1、定年延長制度への対応について」説明が終了しました。説明について質問ありますか。

#### ○鈴木委員

必要最低人員の算出方法について教えてください。

#### ○伊藤和行（東消防署長）

運用しております車両は、消防車4台、救急車6台、救助車両2台、指揮車1台があります。こちらを動かすための人員については、消防車が警防隊4名、救急車が救急隊3名、救助車が救助隊4名、指揮車が指揮隊2名です。また、指揮統制室に2名必要です。この46名を365日24時間常に出動態勢をとるために必要な人数を算出し、消防本部の各課毎日勤務員を足した人数が必要最低人員の183名です。

#### ○山元委員

再任用（短時間再任用職員）9名分の確保に常勤職員9名を確保するのはなぜか。

#### ○勝矢秀樹（総務課長）

令和5年7月に策定いたしました我孫子市定員管理計画のとおり、183名の常勤職員が必要と考えております。再任用職員の勤務日数については通常勤務と比較して0.8人分となります。再任用職員分だけであれば9名×0.8のため7.2人分になります。しかし、本来必要な人員は9名であり、他の職員から必要人員を補わなくてはなりません。

また、定年延長という制度導入で職員の高齢化という課題もあります。消防業務は、健康的な面や体力的な問題等も考慮した中で、常勤の職員と同じ業務をしていくこととなります。そのため、常勤職員と再任用職員を同一と考え一定の余剰を確保し、確実な運用を継続できる人員数として9名分を諮問させて頂いています。

○山元委員

定年延長制度について、60歳の時点で定年延長か定年前再任用か選択できるが、定年前再任用を選択する職員はどの程度見込んでいるのか。

○勝矢秀樹（総務課長）

定年前再任用制度の割合ですが、このあと事務局から説明させて頂きます。ただ、消防は現在条例定数と実員数が同数の形で管理しております。そのため、割合を考慮して計画を立てた場合は計画どおりでない年に条例違反になる可能性があります。この問題に対応するため、全員が定年延長した場合を条例定数として設定し、再任用職員の希望があった場合は常勤職員の実員を考慮しながら条例違反にならないよう管理している状況です。

○本橋佑哉（総務課担当）

定年延長制度の始まった令和5年からこれまで10名の該当があります。令和5年度定年延長3名、再任用1名、退職1名、令和6年度定年延長1名、再任用1名、令和7年度定年延長3名、過去3年の実績としましては定年延長が7割、再任用が2割、退職が1割となります。ただし、対象者が全員定年延長を取得する可能性もありますので、条例違反にならないよう諮問内容のとおり定数を変更し、状況を鑑み実員管理する予定です。

○議長（藤根会長）

他に質問等はありませんか。ないようですので「2、職員の休業休暇取得への対応について」事務局より説明を求めます。

○本橋佑哉（総務課担当）

「2、職員の休業、休暇取得への対応について」パワーポイントのスクリーン映写により説明実施。

○議長（藤根会長）

事務局より説明が終わりましたが、質問のある方は挙手をお願いいたします。

○齋藤委員

育児休業等の対象者をどのように把握しているのか。また、女性職員が妊娠した時はどのような対応をしているか。

○本橋佑哉（総務課担当）

育児休業等の対象者については、男性女性職員共に本人が所属長へ報告することにより把握しています。その後、所属長及び総務課職員による面接を実施し制度案内を

しています。また、女性職員の妊娠報告があった場合は、現場の隔日勤務から消防本部の毎日勤務に配置転換しています。

○齋藤委員

対象者の把握は本人からの報告以外に何かありますか。

○勝矢秀樹（総務課長）

対象者の把握方法は、本人からの報告を基本としています。その他には、市役所等への手続き等で消防総務課を通すものもありますので分かり次第面接を実施し、休業、休暇の制度について案内しています。

○齋藤委員

産前産後休暇、育児休業、子育て休暇、病気休暇について対応する職員3名とのことでしたが、職員の年齢構成をみると50代の職員が多いため介護休暇の取得が増加すると思います。何か対策は立てていますか。

○勝矢秀樹（総務課長）

我孫子消防では、これまで介護休暇を取得した実績はございません。そのため、現状での実数を基にして体制維持を考えた場合介護休暇に伴う職員の要望はありませんでした。ただし、今後取得する可能性がありますので、課題として認識し、検討していきたいと考えます。

○福島委員

女性職員の活躍促進等の説明がありましたが、その基となる特定事業主行動計画とはどのようなものですか。

○野川賢介（総務課長補佐）

次世代育成支援対策推進法に基づき、子育てのしやすい職場環境の整備やワーク・ライフ・バランスの促進に向けて取り組むために我孫子市が制定した計画となります。

○福島委員

実績としてはどのように推移していますか。

○野川賢介（総務課長補佐）

消防に関係が深い項目としましては、男性の育児休業取得の促進、女性消防吏員の計画的な増員があげられます。3年分の実績としましては令和6年度が、男性職員の育児休業の取得促進の目標値50%のところ実績値46.2%、女性消防吏員の計画的な増員の目標値が女性比率3.0%以上のところ5.0%、令和7年度が男性職員の育児休業の取得促進の目標値50%のところ実績値67.0%、女性消防吏員の計画的な増員の目標値が女性比率3.0%以上のところ6.0%、令和8年度は男性職員の育児休業の取得がまだ集計できませんので女性消防吏員の計画的な増員のみですが、実員数で6.0%です。なお、令和8年度からは男性職員の育児休業取得の促進の目標値が85%、女性消防吏員の計画的な増員の目標値が8.0%へと引き上げられています。

○福島委員

女性職員の確保のために何か対策はありますか。

○奥田悠介（総務課担当）

我孫子市内には消防署・分署を合わせ4署ありますが、令和2年までは本部があります西消防署にしか女性用設備はありませんでした。そのため、令和3年に東消防署の施設を改修し、女性職員の仮眠室等を整備しました。また、令和8年11月に湖北署を開署予定です。こちらの施設にも女性用の設備を整備し、今後は4署のうち3署で女性職員が勤務することができます。今後も、施設を更新し女性職員の確保に努めていきます。

○議長（藤根会長）

他に質問等はありませんか。ないようですので「3、消防学校等研修への対応について」説明を求めます。

○本橋佑哉（総務課担当）

「3、消防学校等研修への対応について」パワーポイントのスクリーン映写に基づき説明された。

○議長（藤根委員）

事務局からの説明が終わりました。質問等がある方は挙手をお願いいたします。

○齋藤委員

宿泊を伴わない研修はこれ以外にあるのですか。またあるのであればどのくらいありますか。

○勝矢秀樹（総務課長）

宿泊を伴わない研修はありますが、日帰りの研修による人員確保は今回の資料には含んでおりません。また、消防本部全体への研修通知以外にも所属長や各隊への研修参加依頼もあります。現時点では研修全ての必要人員を把握しておりませんので、次回第2回目の審議会に消防本部全体の研修に係る日数について報告させていただきます。

○山元委員

説明の中で、年間平均で約540日程度とありましたが、大変大きな数字だと思いません。この研修を実施するにあたって、研修計画みたいなものを作成していますでしょうか。

また、その中で年によって日数にばらつきがあると運用や配置も大変になりますので、その計画がある場合は、人数調整や日程調整等を行ってるか教えてください。

○勝矢秀樹（総務課長）

訓練計画としましては、消防本部教育訓練計画というものを作成しています。こちらは、3年間分の計画を立てています。各課・署と人員や予算を考慮しながら計画を

立てております。年度により新規採用職員数や退職者数が違いますので、運用上必要な資格保持者数が確保できるよう管理しています。ただし、突然の退職や休暇もありますので計画変更が必要な場合がございます。

○議長（藤根会長）

他に質問はありませんか。ないようですので次の「(2) 我孫子市消防の現況について」事務局より説明を求めます。

○本橋佑哉（総務課担当）

「(2) 我孫子市消防の現況について」パワーポイントのスクリーン映写に基づき説明された。

○議長（藤根会長）

事務局からの説明が終わりました。質問等がある方は挙手をお願いいたします。

○議長（藤根会長）

質問はありませんか、ないようですので「(3) 今後のスケジュールについて」事務局より説明を求めます。

○本橋佑哉（総務課担当）

「(3) 今後のスケジュールについて」パワーポイントのスクリーン映写に基づき説明された。

○議長（藤根委員）

事務局からの説明が終わりました。質問のある方は挙手をお願いいたします。

○渡邊委員

令和8年11月開署の湖北消防署の運用スケジュールとメリットについておしえてください

○奥田悠介（総務課担当）

湖北消防署の運用開始につきましては、令和8年11月頃を予定しております。現在工事も着々と進んでおり、予定通りの開署を考えていますが、多少前後する可能性があります。湖北消防署の運用開始に伴って、救急隊と救助隊を一隊増隊しております。こちらにつきましては、令和8年4月1日時点で運用開始しております。メリットとしましては災害対応等に対して、効果があると考えております。しかしながら、体制を維持するための人員確保につきましては現在大変苦慮しており、今回諮問させていただいています。

○議長（藤根委員）

他に質問等はありませんか。それでは、議事を終了させていただきます。委員の皆様方には第1回の消防審議会として消防本部の諮問事項等について、現況等理解いただけたものと思います。協力ありがとうございました。第2回の審議会につきましては、5月25日月曜日17時30分から開催したいと思います。以上をもちまして、令和

8年度第1回消防審議会を閉会いたします。